

単元プラン

作成者氏名	米田 謙三
学習実践タイプ	教科型 (英語・情報・総合的学習)
単元タイトル	AGREE OR DISAGREE
総時間	6～8 時間
学校種別・学年	小・中・ 高 ・養護 学校 3 年
学習のテーマ	いろいろなテーマ(特に日本と外国の違いがあるもの)について様々な考え方を学ぶ。 入試に対応する速読・読解力・リスニング力・ライティング力を身につける。 ディスカッション・コミュニケーション・分析の能力を身につける。
単元の教科	長文読解・リスニング・ライティング・プレゼンテーション・分析理解
単元の概要	長文にあったテーマをひとつ選び(たとえばサマータイムなど)、このテーマについて AGREE と DISAGREE に分かれて ボード(WEB 上の掲示板)に自分の意見を書き込んでいく。このときインターネットを使ったり、周りの意見も見てさらにそのテーマについての理解を深める。また外国との違いがないかも考えさせる。 その導入として会話文を聞かせる。簡単な T or F の質問に答える作業を行い 答えをボードに記入させる。長文は、入試問題で速読を意識させながら設問に答える作業を行う。必要があれば答えをボードに示す。 ボードの意見を分析しながら 最後に相手(反対意見側)に納得いくように考えをまとめ発表させる。(パワーポイント1(2)枚で) またそれを英語に訳す。 (インターネットの翻訳ソフトなどを使うことも認める) また担当者に質問・添削依頼などがあればさせる。(メールの利用も認める)
学習目標	単元目標(児童・生徒につけさせたい力) ウェブ検索・情報収集力 分析・判断力 リスニング力 速読力 長文理解力 異文化理解力 ライティング力 プレゼンテーション能力 コミュニケーション能力 情報モラル メール活用能力

学習課題(児童・生徒に設定させたい課題)

- ・ インターネット検索をすばやく行いかつ的確な情報を収集することができる
- ・ インターネット検索で的確なキーワードを考えることができる
- ・ 物事をいろいろな角度から見て考えることができる(いいところ、悪いところ)
- ・ 掲示板へ書き込むときの注意事項を理解できる
- ・ 他人の書き込みをきちんと理解・分析できる
- ・ メールの便利さおよび危険性を理解できる
- ・ ウェブ検索した資料を活用して発表資料を作ることができる(著作権も考慮する)
- ・ 会話文(英語)を聞き取りその内容を理解することができる
- ・ 長文(英語)を読み(聞き)取りその内容を理解することができる
- ・ テーマの背景にある外国との文化的な違いを理解することができる
- ・ 自分の意見をまとめ、発表することができる またその意見を英語になおすことができる
- ・ 自分の意見を相手にきちんと納得いくように発表することができる

学習段階	生徒の学習活動	教師の活動・使用ツール
<p>導入 [1 時間目]</p>	<p><単元の概要についての説明> 20 分 インターネット検索をすばやく行いかつ的確な情報を収集することができる インターネット検索で的確なキーワードを考慮することができる 物事をいろいろな角度から見て考えることができる(いいところ、悪いところ) メールの便利さおよび危険性を理解できる ウェブ検索した資料を活用して発表資料を作ることができる(著作権も考慮する) 会話文(英語)を聞き取りその内容を理解することができる 長文(英語)を読み(聞き)取りその内容を理解することができる テーマの背景にある外国との文化的な違いを理解することができる 自分の意見をまとめることができる また その意見を英語になおすことができる 自分の意見をきちんと発表することができる</p> <p><ウェブ検索実習> 20 分 テーマについての検索 テーマを検索するためのキーワードを考える キーワード検索で調べる</p> <p>ボードの使い方を理解する 10分</p>	<p>趣旨説明 何かひとつのテーマについてよい面と悪い面の両方を考えさせる。たとえば 相手に年齢を尋ねる ということについて、外国では失礼にあたることは知っている、ただ日本ではその情報をもとに言葉の口調を変えたり話題もあわせることができる場合もある。その意味ではよい面もある。最初は賛成と反対と分けてその理由や考えを書き込みボードに記入させていく。このときインターネットを使ったり、周りの意見も見てさらにそのテーマについての理解を深めさせる。(また外国との違いがないかも考えさせる。)そして最終的に自分の意見を考えさせ、それをみんなの前で発表し、理解をしてもらう。 また、そのテーマについての英語の会話文や長文、自分の意見を英訳するなど、英語の学習の一環としての位置付けを与える。 英語に翻訳するときの注意点を指導する。</p> <p>検索方法の解説 Web を利用 (検索サイトがわからない生徒のために一定時間経過後、サイトの例を教える) 校内ネットワーク上にあるこちらで用意した URL をサンプルで示す。</p> <p>正しいボードの使い方(ネチケットなどにも触れながら)を説明する。</p>
<p>英語学習 [2時間目]</p>	<p><リスニング> 20分 会話分を注意して聞き 内容を理解して設問に答える</p> <p><長文読解> 25分 内容を理解して設問に答える。 ・他の生徒の書いた情報をえる。 ・わからない語彙の意味を調べる。</p>	<p>聞き取った内容をボードに記入させる。 きちんと内容を理解させる。 語彙一覧を参考にさせ わからない語彙の意味を調べさせる。 長文についても同様にさせる。 速読を意識させる。前から読んでいくところをこころがけさせる。</p>

学習段階	生徒の学習活動	教師の活動・使用ツール
発表と 英作文 [3 ~ 4 時間] プラス 2時間	<p><意見公開> 20分 テーマについての賛成意見・反対意見を ボードに記入 (時間があれば賛成 と 反対 グループいくつ かにわかれる。発表(口頭)しあう。) 最終的な自分の意見をまとめる。</p> <p>プレゼンテーション(時間に余裕がある場合) <発表準備> 2時間 ・ソフト(パワーポイント)について理解する。(30 分) ・意見を自分なりにまとめていく。</p> <p><英作文> 20分 (・日本語によるまとめをボードに書く) ・まとめた日本語の英訳 ・著作権について理解する。</p> <p><発展学習> 分 ・調べたキーワードに、異文化的な理解の違 いが見られないか考えてみる。</p> <p><発表と評価> ・自分の英訳を発表する。(先生にメールする) ・あるいは 発表コーナーに掲示する。</p>	<p>個別の質問に対応</p> <p>情報交換をさせることで、さらに理解を深めさせ る。(他人の理解および分析)</p> <p>反対の立場にきちんと納得させることができるよ うな意見にさせる。(発表対象を明確にさせる)</p> <p>プレゼンソフトの操作説明をこちらで用意した例 を見せておこなう。 個別の質問に対応</p> <p>英作文についての注意事項 (1) 難しい英語を使う必要はないこと。 (2) ウェブのままの英文は、出典を記載す ること。(著作権について理解させる) (3) できるだけ自分の英語を使うこと。 (4) 翻訳サイトをうまく活用すること。</p> <p>異文化理解ができそうなテーマであれば 考えさせてみる。</p> <p>メールの便利性と危険性を理解させる。 英文の添削をする。</p>
まとめ	<p>プレゼンの作品がある場合。 ・ パワーポイントによる発表をする。 (1人2分前後) (・生徒同士での評価をする。)</p> <p>プレゼンの作品がない場合。 ・口頭による発表をする。(1人2分前後) (・生徒同士での評価をする。)</p>	<p>発表についての注意事項 自分と反対の意見の人を納得させるような プレゼンテーションをすること。 (対象をはっきりもたせる)</p> <p>教員の評価・まとめ</p>